

平成21年3月期 第1四半期

平成20年4月1日～平成20年6月30日

- 補足資料 -

平成20年7月31日

デジタルアーツ株式会社

☆売上を「ソフトウェア部分」と「保守サポート部分」で区別して計上することに変更いたしました。

- ・ソフトウェア部分と保守サポート部分を区別して顧客に提供する体制が整ったことによります。
- ・平成20年3月期より開始し、平成21年3月期は本格的に通年で適用。

【詳細】

- ・ソフトウェア部分の売上は、従来通り販売した時点で売上計上。
- ・保守サポート部分の売上は、契約月数で案分し売上計上。
販売時点では売上計上せず、製品利用契約期間で案分し、月単位で順次売上計上していく。

平成21年3月期は本格的にこの会計区分変更が適用となるため、**販売済の保守サポート部分については、販売時点での売上計上はされず、同額が将来の売上を増加させる。**

企業向け市場で売上が前年同期を大幅に上回る

企業における内部統制や情報漏洩対策に関心が高まった事を背景に、インターネットの利用においても、これまでの閲覧制限に留まらず、アクセスログの分析・保管といった視点からWebフィルタリングソフト「i-FILTER」の販売が好調に推移した。

また、こうした企業の内部統制や情報漏洩対策に関するニーズに、より一層対応すべく提供を開始したメールフィルタリングソフト「m-FILTER」の販売も順調に推移した。さらに平成20年6月には「m-FILTER」Ver.2の提供を開始し、その高機能と使い勝手の良さが以前にも増して評価され、案件も増加している。

公共向け市場で売上が前年同期を上回る

これまでの教育機関を中心とした販売は継続しつつも、政府の提唱する「IT新改革戦略」に基づきIT化を進め、また情報漏洩対策を積極的に進める地方自治体や官公庁をも広く導入対象施設として、積極的な販売活動推進した。

家庭向け市場で売上が前年同期を大幅に上回る

インターネットの不適切な利用に端を発する様々な未成年者に関する犯罪などの増加により、政府のフィルタリングの義務化への取組み強化や、いわゆる“青少年有害サイト規制法”が平成20年6月に成立するなど、社会のフィルタリングへの関心はこれまでになく高まる。

そんな中、平成20年2月より、機能強化がされたWebフィルタリングソフト「i-フィルター5.0」を、大手家電量販店などの店頭販売をはじめとした販売活動を積極的なPR活動とともに推進した結果、販売が好調に推移した。

平成21年3月期 第1四半期 業績概要について
- 売上区分変更前・売上区分変更後 -

平成21年3月期 第1四半期サマリー(連結)

販売した保守サポート料分について売上から控除する前の平成21年3月期 第1四半期連結売上高は4億1千万円(前年同期比134%)、営業利益は1億1千6百万円(前年同期比278%)となりました。

(単位：百万円)

	平成20年3月期 第1四半期 実績 ※3	平成21年3月期 第1四半期 実績			
		保守サポート 売上高区分前 ※1	前年同期比	保守サポート 売上高区分後 ※2	前年同期比
売上高	305	410	134%	368	120%
営業利益	41	116	278%	73	175%
経常利益	41	116	279%	73	176%
純利益	19	79	409%	36	189%

注：保守サポート売上区分前の売上高、営業利益、経常利益および純利益はプロフォーマベースのものです。
税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。
平成20年3月期より開始し、平成21年3月期は本格的に通年での適用となります。

※1 保守サポート売上高区分前：販売した保守料売上を含む売上

※2 保守サポート売上高区分後：保守料売上を除いた売上

※3 平成20年3月期 第1四半期は、保守サポート売上高区分前と区分後で売上高に百万円単位の差額はありません

平成21年3月期 第1四半期サマリー(単体)

販売した保守サポート料分について売上から控除する前の平成21年3月期 第1四半期単体売上高は4億1百万円(前年同期比135%)、営業利益は1億2千5百万円(前年同期比239%)となりました。

(単位：百万円)

	平成20年3月期 第1四半期 実績 ※3	平成21年3月期 第1四半期 実績			
		保守サポート 売上高区分前 ※1	前年同期比	保守サポート 売上高区分後 ※2	前年同期比
売上高	296	401	135%	359	121%
営業利益	52	125	239%	83	159%
経常利益	53	125	234%	84	156%
純利益	31	89	284%	48	152%

注：保守サポート売上区分前の売上高、営業利益、経常利益および純利益はプロフォーマベースのものです。
税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。
平成20年3月期より開始し、平成21年3月期は本格的に通年での適用となります。

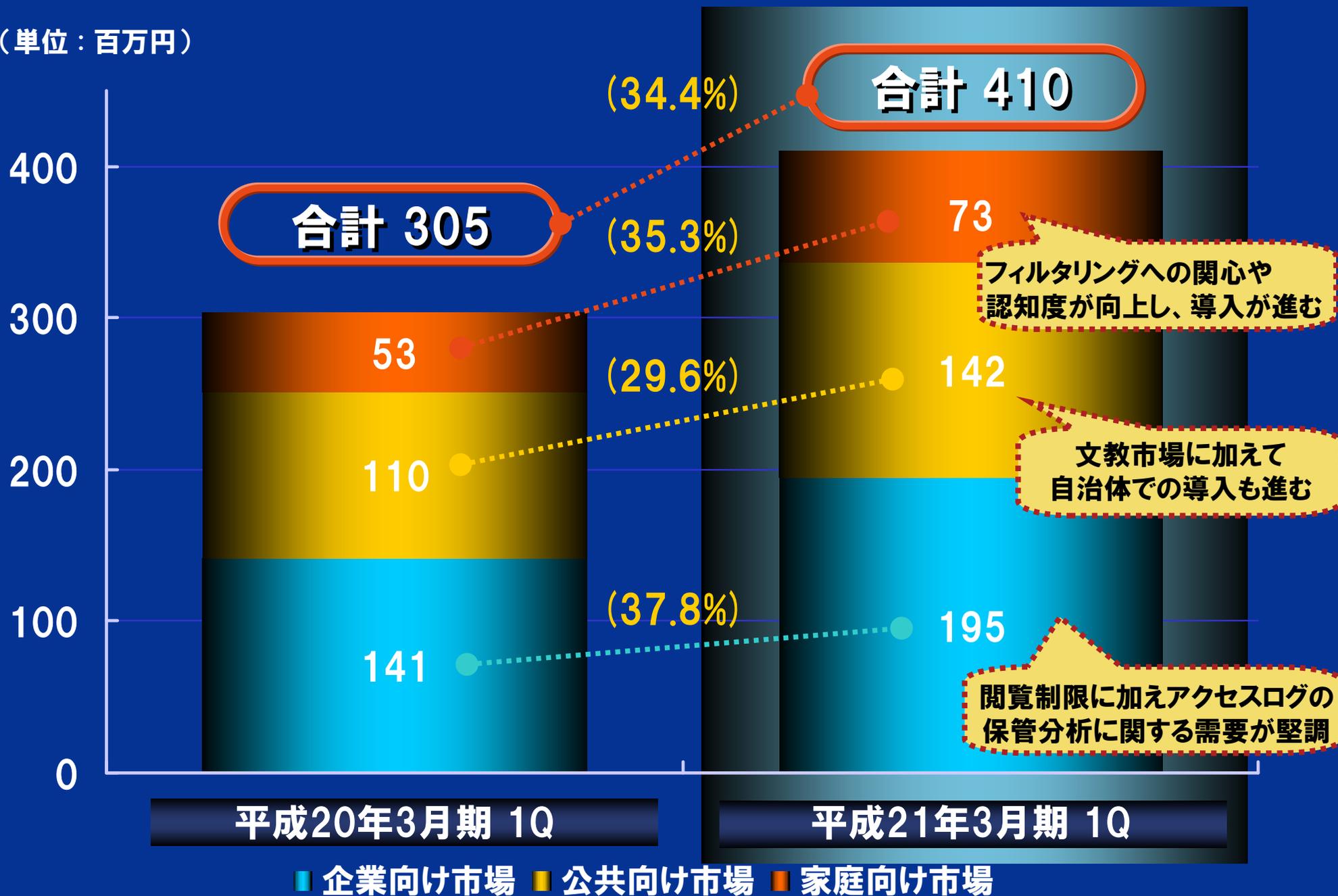
※1 保守サポート売上高区分前：販売した保守料売上を含む売上

※2 保守サポート売上高区分後：保守料売上を除いた売上

※3 平成20年3月期 第1四半期は、保守サポート売上高区分前と区分後で売上高に百万円単位の差額はありません

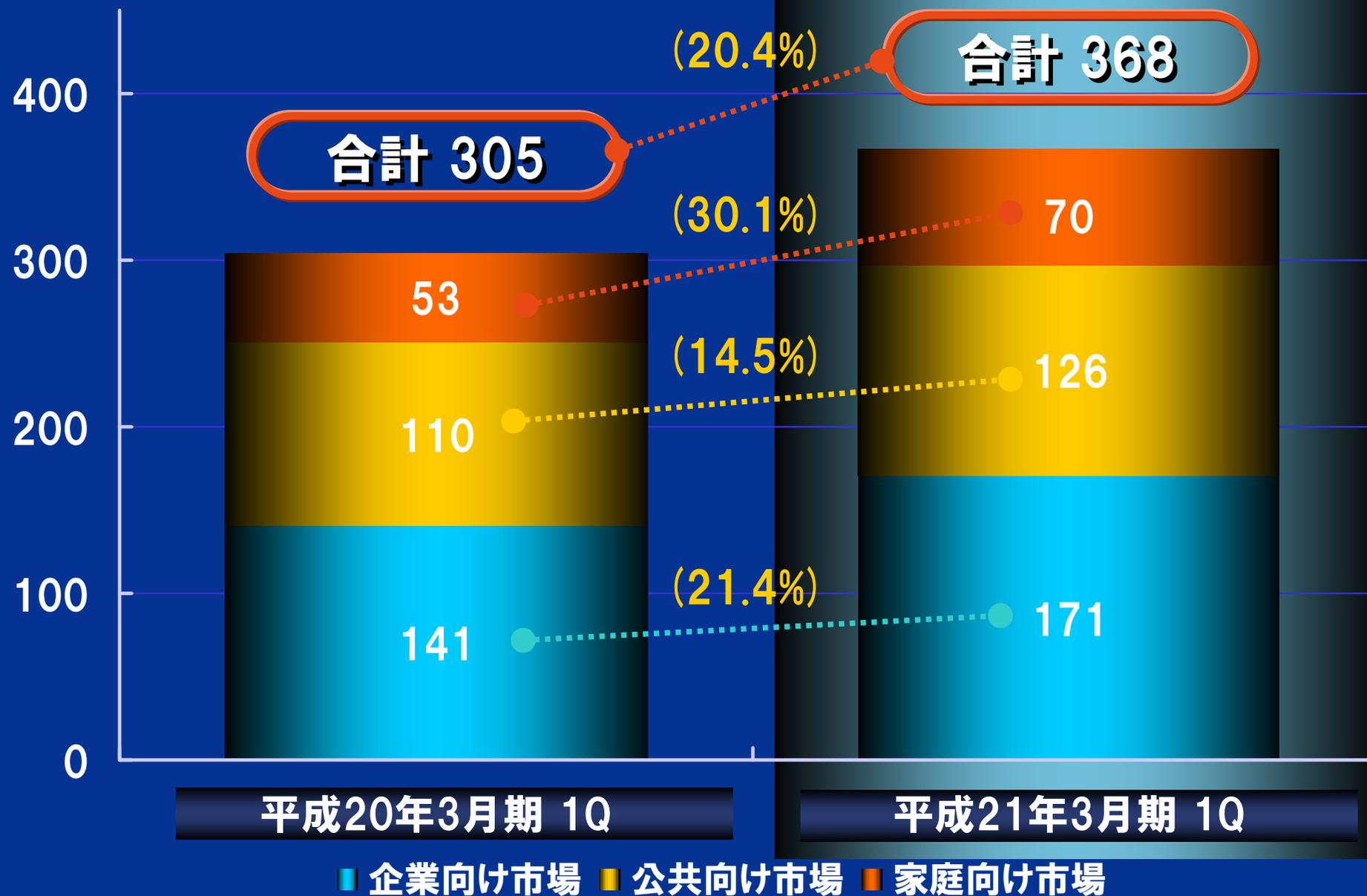
市場別売上高(連結) -売上区分前-

(単位：百万円)



市場別売上高(連結) -売上区分後-

(単位：百万円)



参考
平成21年3月期 業績見通し

平成21年3月期 業績計画サマリー(連結)

販売した保守サポート料分について売上から控除する前の平成21年3月期連結売上高は20億3千万円(前年同期比116%)、営業利益は8億4千5百万円(前年同期比125%)の計画です。

(単位：百万円)

	平成20年3月期 実績		平成21年3月期 計画			
	保守サポート 売上高区分前 ※1	保守サポート 売上高区分後 ※2	保守サポート 売上高区分前 ※1	前年同期比	保守サポート 売上高区分後 ※2	前年同期比
売上高	1,754	1,700	2,030	116%	1,870	110%
営業利益	676	622	845	125%	685	110%
経常利益	676	623	846	125%	686	110%
当期純利益	403	349	537	133%	377	108%

注：保守サポート売上区分前の売上高、営業利益、経常利益および当期純利益はプロフォーマベースのものです。
税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※1 保守サポート売上高区分前：販売した保守料売上を含む売上

※2 保守サポート売上高区分後：保守料売上を除いた売上

平成20年5月15日公開資料：平成20年3月期 決算説明会資料 - ダイジェスト版 -

平成21年3月期 業績計画サマリー(単体)

販売した保守サポート料分について売上から控除する前の平成21年3月期単体売上高は20億円(前年同期比118%)、営業利益は9億円(前年同期比128%)に達する計画です。

(単位：百万円)

	平成20年3月期 実績		平成21年3月期 計画			
	保守サポート 売上高区分前 ※1	保守サポート 売上高区分後 ※2	保守サポート 売上高区分前 ※1	前年同期比	保守サポート 売上高区分後 ※2	前年同期比
売上高	1,702	1,650	2,000	118%	1,830	111%
営業利益	704	652	900	128%	730	112%
経常利益	711	659	905	127%	735	112%
当期純利益	438	385	580	132%	410	106%

注：保守サポート売上区分前の売上高、営業利益、経常利益および当期純利益はプロフォーマベースのものです。
税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※1 保守サポート売上高区分前：販売した保守料売上を含む売上

※2 保守サポート売上高区分後：保守料売上を除いた売上

平成20年5月15日公開資料：平成20年3月期 決算説明会資料 - ダイジェスト版 -

記述に関するご注意

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。